



1. 自分にもできるSDGsってなんだろう？みんなで考えてみよう / 2. 山に入って竹取り体験。暑いけどがんばるぞ！ / 3. 切り出した竹で流しそうめん。器や箸も自分で作りました！ / 4. どの桃がいいかな？みんなで桃狩り体験

「また会おうね！」

8月5日⑨～7日⑩、伊達市の友好交流都市である滋賀県草津市との共同事業「^{キッズ}みらいKIDSにぎわい交流事業」が実施されました。各市10人の小学5、6年生たちが、伊達市内を会場にたくさんの活動を協力して行い、3日目には別れを惜しみつつ、笑顔で草津市のお友達を送り出しました。参加した子どもたちからは「はじめは仲良くなれるか不安だったけど、親友が2人できました」「この思い出を一生の宝物にします。絶対忘れません」といった感想が聞かれ、子どもたちにとって最高の夏の経験になりました。



市長コラム 第69回
「梁川八幡神社に咲く
古代蓮^{はす}の里帰り」

過去の
コラム



須田 博行

はじめに、滋賀県草津市の紹介をします。草津市は日本最大の湖・琵琶湖に面し、豊かな自然と深い歴史があり、また交通の要衝として利便性に富むまちです。クリスマスブーツ発祥の地でも有名です。

伊達市と草津市は、東日本大震災直後の平成23年5月、「草津ふるさとまつり」に伊達市が招待されたことをきっかけに交流が始まりました。平成26年11月に友好交流都市を締結し、草津市からは琵琶湖の古代蓮^{はす}が記念として寄贈されました。現在は、梁川八幡神社参道入口に移植され、富野自治会と八幡様周辺整備協議会の皆さんの手で大切に育てられており、訪れた人の目を楽させてくれています。

また、平成29年から、両市の未来は子どもたちが創る^グとの思いで、小学5・6年生が交互にお互いの市を訪れ学習と交流を行う「^{キッズ}みらいKIDSにぎわい交流事業」を行っています。

今年は、草津KIDS10名を伊達市に迎え、伊達KIDS10

名と2泊3日の合宿で交流を深めました。流しそうめんや桃狩り、SL乗車など、忘れられない一生の思い出になったと思います。さて、今回訪ねてくれた草津KIDSは、草津市長より「古代蓮里帰り大使」という重要な使命を受けてきました。なぜかと言うと、八幡神社の蓮のふる里^{はす}琵琶湖の古代蓮^{はす}が原因不明で消滅してしまったからです。滋賀県や草津市が調査しましたが、「短期間での再生は事実上不可能」との結論となりました。そこで、草津KIDSは、伊達市で愛され育てられてきた古代蓮の里帰りを依頼するために、草津市長の親書を携えて訪ねてきてくれたのです。

蓮は、伊達市と草津市の友好交流10周年を記念し、今年の冬に株分けして里帰りします。草津市で生まれ、富野の皆さんに大切に育てられた蓮が、来春以降、草津市の公園で再び美しい花を咲かせることでしょうか。両市の絆がさらに強くなると確信しています。